

課題共有会では、本スカラシップ1期生・2期生を交え、留学前後の課題や自身の留学がキャリアにどうつながるか、複数のグループに分かれ、活発なディスカッションが行われました。

また、先輩スカラ生からは、留学成果・印象深いエピソード、スカラ生使用用途、留学と進路、今後の抱負といったテーマをパネルディスカッション形式で発表してもらい、これから留学する2019年度生(8期生)へのアドバイスをもらいました。

帰国生からのメッセージ

Message



文系(スカラ1期生)
日本:飲料メーカー勤務

事前の入念な準備と渡航先ではあまり力みすぎないことが充実した留学生活を送るコツ

留学中の日々を充実させるコツは、事前に入念な準備をすることです。語学の習得、経済的な余裕づくり、また、現地で訪問したい研究者、企業、団体などがあれば、日本であらかじめコンタクトや面会アポを取っておきます。そして日々においては、勉強だけでなく、課外活動へも積極的に参加し、クラスや寮で時間を共にする学生たちとの絆も深めていけば、より実りの多い留学体験になるはずです。



理系(スカラ2期生)
日本:コンサルティング企業勤務

留学中の経験がグローバルなチームで働く軸になった！

留学中、各国からの留学生たちとチーム研究を数多く行いました。その経験が評価され、志望していたグローバル系企業に入社できました。外国人スタッフで構成されたチームのリーダー職を経て、来年は目標だった海外支社のマネージャー職に就任予定です。皆さんも留学先で出会った方々との交流を深め、就職活動や将来のキャリアに繋がられるような人間関係を築きましょう。

2019年度奨学生の声～留学に向けて

Voice

正課と課外活動

Voice

留学中は正課授業で専門分野の学びを深めるだけでなく、様々な国々の学生たちとの交流を通して視野を広げ、課外でのスポーツ活動(スポーツ・芸術鑑賞・フィールドワーク)や、現地企業でのインターンシップにも、ぜひ、チャレンジしてみたい。

力みすぎない積極性

Voice

留学のテーマは「+αの学び」。ドイツの大学に留学するため、専門的な勉強以外にも、語学はドイツ語、英語、フランス語の習得を目指し、将来は日本をベースに、ヨーロッパとの架け橋となるビジネスで活躍したい。

Expert ▶ Diversity 発信力

Voice

留学先では、国際政治と遺伝子分野の両方を専門的に学び、将来の進路を決めるための判断材料にした。また、休みを利用して周辺諸国も探訪しつつ各国文化を吸収することで、より見識を広げたい。

Origin 傾聴

Voice

一般家庭ホームステイなども体験し、現地の人たちとの交流をできる限り深めながら、その国の歴史や人々の価値観を肌身で感じたい。就職後は専門知識と語学能力を活かし、ビジネスで国と国をつなげる人材になりたい。

課題共有会の様子 (2019.4.5)

